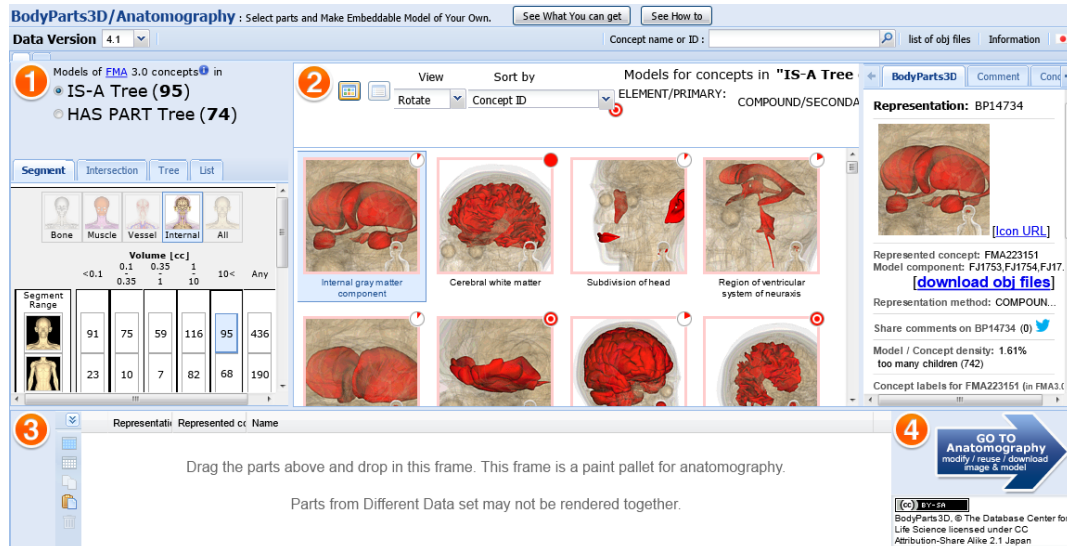


## ○ BodyParts3D / Anatomography とは

誰でもウェブ上でカスタム解剖図を作成し交換できるサービスです。  
作成した図は、論文に用いるなど自由に公開することが可能です。



## ○ BodyParts3D / Anatomography の特徴

以下の3つの要素から構成されています。

### ・解剖図構築キット (BodyParts3D)

三次元 (3D) デジタル人体模型を解剖学的に分割したパーツセット。

### ・解剖図エディタ (Anatomography)

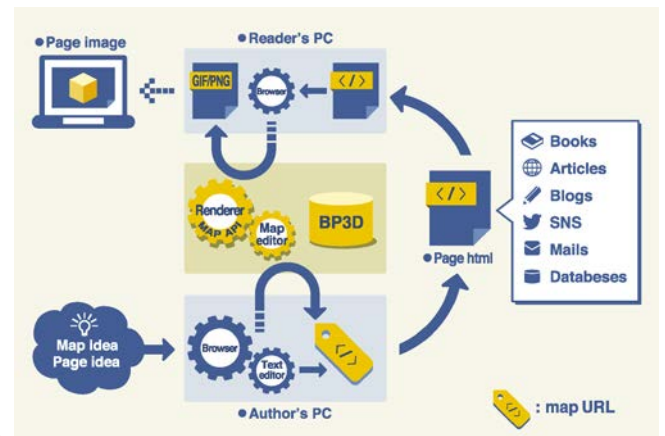
上記キットのパーツを用いてカスタムモデルを構築し、そのモデルの『mapURL』を作成するためのウェブ・アプリケーション。この『mapURL』はパーマリンク URL として保存やサイトへのコピー、プログラムへの埋め込みが自由に行えます。

(Anatomography サーバへの http 通信が必要です)

### ・解剖図 API

『mapURL』の情報に基づいて、カスタムモデルを画像に変換するアプリケーション・プログラミング・インタフェース (API)。API 仕様については下記 URL をご覧ください。

[http://lifesciencedb.jp/bp3d/info\\_en/webapi/apidoc.html](http://lifesciencedb.jp/bp3d/info_en/webapi/apidoc.html)



## ○ BodyParts3D / Anatomography 4.0 でできること

- 1) 独自の解剖図を作成し、それを『mapURL』として共有
- 2) 身体表面や内部の座標の「pin-URL」へのコーディング
- 3) 身体部位別データの自動的視覚化 (階級区分図)
- 4) 地理マップ等他の API とのマップマッシュアップ・データ視覚化
- 5) 患者どうしによる共同の Mapping 作業
- 6) 複数の解剖図の編集

## ○ BodyParts3D/Anatomography 4.0 の主な変更点

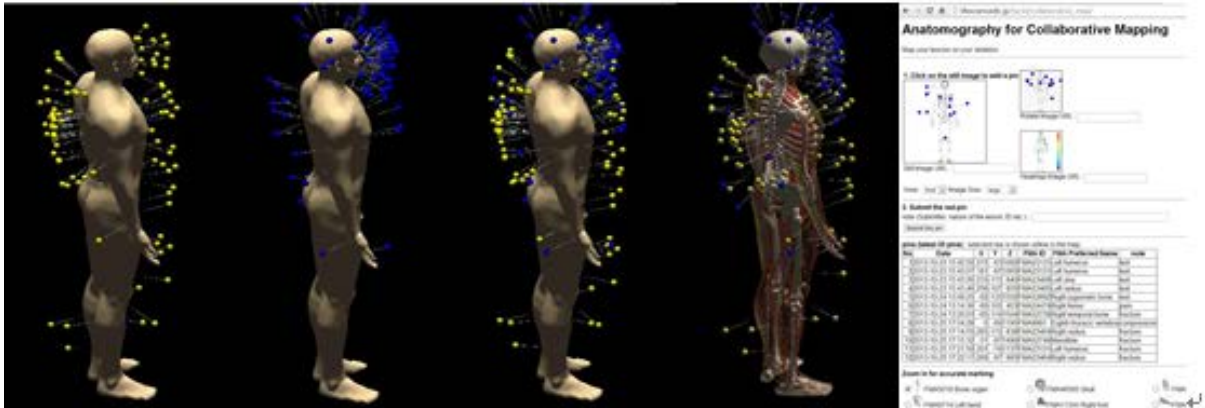
### ・ 3次元人体モデルパーツの改良と追加

新たな臓器の追加とともに、全体の座標を見直しました。ファイル名も整理されています。  
(異なるバージョンのデータを併せて利用することはできません。)

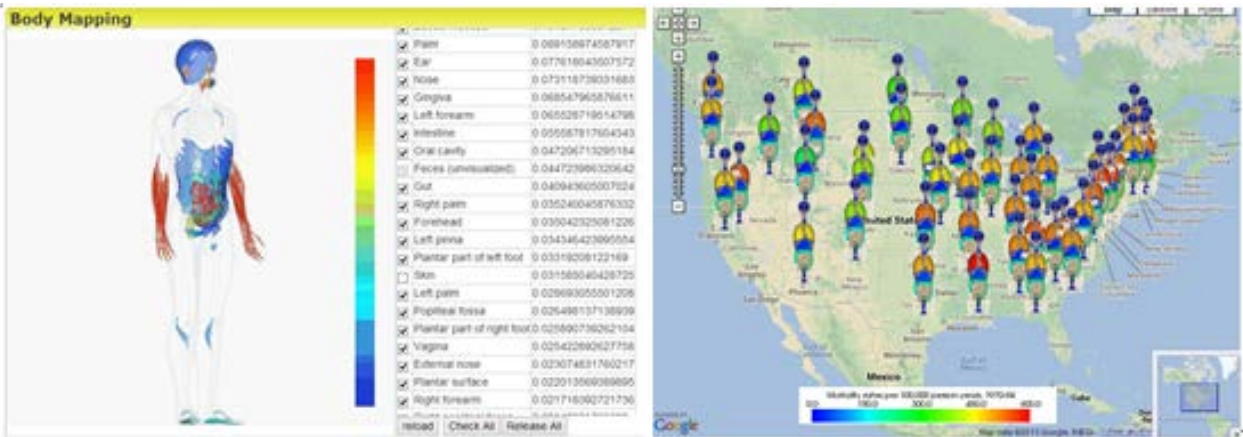
### ・ インターフェースの刷新

ウェブサイトやメニューの構成も見直し、作業フローがわかりやすくなるようにしました。

## ○ 利用例



皮膚のメラノーマ（黄色）と皮膚以外のメラノーマ（青色）の発生個所にピンを打ち、両者を重ね合わせたモデルを作成した例



人体におけるバクテロイドの分布をヒートマップで表した例。MicrobeDB.jp での利用例を転載。  
<http://microbedb.jp/MDb/taxonomy/?taxid=28216>

米国内各州における臓器別がんの死亡統計情報を表した例。50種類のエリア別マップをもとに構成。

このほかのモデル例については BodyPars3D ユーザガイドの『できること』などをご覧ください。  
<http://lifesciencedb.jp/bp3d/info/userGuide/application/index.html>

## ○ ご質問やご意見はこちらまで [info@dbcls.rois.ac.jp](mailto:info@dbcls.rois.ac.jp)

(2013年11月現在 ver.3)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター  
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部 12号館 TEL: 03-5841-6754(代表) FAX: 03-5841-8090(代表)

本サービスは、文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」の成果をもとに、JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業『基盤技術開発プログラム』として実施しています。